備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

（平成17年度事業）

施策名（小項目）	老人保健（医療給付）	コード	担当課	保健課
		02-01-08	電話	64-1819

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系		
	大項目（基本目標）	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目（基本施策）	健やかで生き生きしたまちづくり

① 施策の対象と目的 （誰のために、何のために）	老人医療対象者のため老人保健制度を運営し、適切な医療を受けられるよう医療費を支給し老人福祉に資する。
② 市民ニーズ （反応、問合せ等）	医療に対する要望は強い事業である。
③ 現況と課題 （総合計画から現在の問題点を抽出）	制度改正により一部負担等は対象者によって様々に分岐している。また、20年度からは広域組合によるものへと移行するため、職務の分掌等を市民に理解してもらう必要がある。
④ 施策展開 （総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出）	・ 健康や医療の意識啓発 ・ ・ ・ ・ ・ ・

⑤ 施策成果指標の検討・設定（基本目標・基本施策・施策意図から検討する）

意図・推進内容のキーワード	考えられる施策成果指標名	順位
老人保健制度維持	保険財政の安定	2
老人保健医療費給付	年間一人当たりの受診回数	1

施策に対する成果指標名		単位	評価年度 H17			目標値 H23	目標値 H28	ベンチマーク	指標の説明
1	一人当たり年間平均受診回数	目標	回	20.0					年間受診件数/対象者数(年間平均)
		実績	回	22.0					
		達成率	%	90.9					
参考1		目標							
		実績							
		達成率	%	#DIV/0!					
参考2		目標							
		実績							
		達成率	%	#DIV/0!					
参考3		目標							
		実績							
		達成率	%	#DIV/0!					

市民意識調査結果	施策名	調査年度		H18	H19	H20	H21	H22
		重要だと思っている市民の割合	%					
		満足している市民の割合	%					

⑥ 施策構成事務事業の評価

担当課長評価

	施策を構成する事務事業名（ ）はその人件費（単位：千円）	事務事業評価結果 A ～ E（高 ～ 低）	細事業一覧表	直接事業費（単位：千円） 17年度事業費			優先順位（A～C）
1	老人保健制度維持事業 (2,790)	C	管理事業	10,439			B
			利子支払事務	0			C
			補助金・交付金・繰入金返還事業	4,413			C
			徴収金還付事業	0			B
			合併調整事業	453			C
2	老人医療給付事業 (14,490)	C	医療給付事業	5,090,934			B
			医療費支給事業	57,215			B
			審査支払事業	15,945			B

この施策に要した費用（人件費込、単位：千円）	H17		
	5,196,679		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
介護保険課	介護予防給付、地域支援事業	医療費適正化のため
保健課健康係	老人保健事業	医療費適正化のため

⑧ 施策の評価

項 目	5：非常に高い 4：高い 3：どちらともいえない 2：低い 1：非常に低い 一次評価 評価	一次評価 判断理由	二次評価 評価	二次評価 判断理由
1 目的達成度	4	老人保健制度対象者に適正な給付管理ができている	3	指標からは判断できない
2 事業構成の適当性	4	制度運営が正確に実施できている	3	給付に関しては妥当である
3 施策の有効性	4	老人の医療事故に対応できている	3	医療費抑制対策の効果が不明
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	継続可能な医療制度にするための医療制度改革が今後実施されるが制度の周知徹底を図り、対象者の理解を得るとともに、健康部門と連携し保健事業を展開し受診抑制を図る必要がある。		国保と同様の指標が必要(ベンチマーク含む) 施策の啓発事業を行う必要がある	
担当部長コメント	医療保障制度は大きな転換期にあり、世代間の公平の観点から制度の見直しが検討されている。医療保険制度の基本的な仕組みと、それに基づく保健医療サービスなど、医療体系がどのように構成されているか、市民に理解してもらうことが肝要である。			